

編集 後記

日本公衆衛生雑誌57巻第2号をお届けします。本号には、原著3編、公衆衛生活動報告と資料がそれぞれ1編掲載されています。連載記事もしっかり定着してまいりました。

さて、原著および公衆衛生活動報告については、いずれも健康行動の決定に深くかかわる要因を探るもので、それぞれに公衆衛生的な意義が高く、実務を進めるにあたって示唆に富むものとなっています。方法論はさまざまですが、シナリオを設定した行動を予測する実験的な取り組み（田口論文）などは、読者も興味をもたれることでしょう。一方で、オーソドックスな調査票を用いた研究でも、実地に基づいた要素間の関連（仮説）を現場で確認していく作業はやはり大切で、公衆衛生活動や施策の優先順位を定める際に大変参考になるものです。介護老人福祉施設入所者の主観的幸福感に関わる要因を調査された松平論文を含めて、今回掲載された論文はそのような例と思います。

今後とも、会員の皆様の活動・研究成果をお待ちしております。
（堤 明純）

次号予告（第57巻・第3号）

原著

Factors that are related to reduced visual acuity in male junior high school students and their effects; findings based on cross-sectional study

（横断的調査における男子中学生の視力低下に関連する諸要因の探索とその影響）

..... 椛勇三郎, 他
坂戸市小学6年生における家庭の果物入手可能性と摂取行動との関連..... 高村美帆, 他
保健師教育機関卒業時における技術項目と到達度..... 麻原きよみ, 他

資料

通信制生活習慣改善法が睡眠改善に及ぼす効果とその関連要因..... 天本優子, 他
一般病院に勤務する看護師の禁煙支援の現状と関連要因の検討..... 有馬志津子, 他

連載

運動・身体活動と公衆衛生(23)..... 内藤義彦
保健師助産師看護師法の改正と保健師教育の展望(7)..... 森岡幸子, 他